

2021年度 冬の特設展 通常展「谷崎潤一郎・人と作品」に併設

谷崎からの手紙

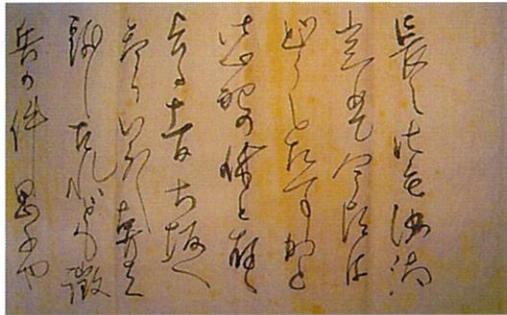
The letters from Tanizaki ~書簡の中の文豪~

2021年12月11日(土)~2022年3月27日(日)

「手紙」には、その文面はもとより、筆跡や文体、ハガキか封書かといった書簡の形式、便箋か巻紙かという用紙の使い分け、ペンか筆かの筆記用具の別など、さまざまな情報が詰め込まれている。そんな手紙からみえてくる、文豪谷崎の人となりや折々の心象風景、周囲の人々との関係性等を、さまざまな切り口で浮き彫りにする。

冬の特設展 展示資料紹介

大正期の貴重な書簡。谷崎26歳、文壇でようやく注目され始めた頃である。一方で、不遇時代からの不安定な精神状態もうかがえる、書面にみえる一つの事件は、後に青春時代を振り返った回想録にも登場し興味深い。



1912(大正元)年8月5日付谷崎潤一郎書簡

冬の特設展 関連講座

学芸員が語る冬の特設展 谷崎からの手紙

The letters from Tanizaki ~書簡の中の文豪~

日時：2022年2月27日(日)
午後2時~3時

- 講師：井上勝博(当館学芸員)
- 場所：当館講義室
- 定員：20名(要予約)
- 持ち物：筆記用具 ※入館料のみで受講いただけます。



1913(大正2)年
文壇デビュー頃の谷崎

谷崎自筆の書簡の数々を、その内容や背景、文豪をめぐる人間関係にまつわるエピソードを絡めて、学芸員がわかりやすく解説します。

通常展 紹介

谷崎潤一郎・人と作品

谷崎潤一郎は明治19(1886)年東京に生まれ、20代半ばで文壇にデビューします。以後、昭和40(1965)年に生涯を閉じるまで約半世紀にわたり、激動の社会情勢に流されることなく独自の世界を描き続けました。その潤一郎の人物作品を、生い立ちから晩年にわたって紹介します。



5歳頃の谷崎潤一郎

ロビーギャラリー 小山翔平 展

「視覚がもたらす調和のための準備運動」

ぼんぼん発表するためにはこつこつ制作するしかない展 2

2021年12月14日(火)~2022年1月30日(日)

布のように見えますが、木製キャンパスに描いた油絵です。描くというよりは線を置いていき、固まったらまたその上に線を重ねていくことで立体感が生まれ、角度を変えて見ることによって表情が変わります。絵の表情をお楽しみください。 ※入館料のみで観覧いただけます。



「タンツアードのない世界」

★一日体験講座 12月19日(日)

「線で不思議なふにやふにや

ぼこぼこキャラクター~」

はがきに落書きして顔を描いてキャラクターを作りませんか?

①午前10時~11時 ②午後2時~3時

各回終了後にギャラリートーク(自由参加)

- 参加費：100円 別途入館料
- 定員：16名(小学生~大人)(要予約)
- 持ち物：黒水性ペン 0.4mm(要返却)とハガキは講師がご用意します。カラーペン(水性)をご使用の場合はご持参ください。



芦屋市谷崎潤一郎記念館

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12番15号 TEL:0797(23)5852 FAX:0797(38)3244

e-mail: ashiya-tanizakikan@shopro.co.jp ホームページ: <https://www.tanizakikan.com>

★コロナウイルス感染対策のため、掲載内容に変更が生じる場合があります。谷崎館ホームページをご覧ください。

★イベント参加者の方の個人情報は個人情報保護法及び当館を運営する小学館集英社プロダクション共同の個人情報取り扱い方針に基づき厳重に管理し、適正に取り扱います。